

基本目標Ⅲ

結婚・妊娠・出産から子育てまで
充実した生活環境を整備する



1 数値目標

目 標	基準値 (H25～H29年)	目標値 (令和7年)
合計特殊出生率	1.88	1.88

2 基本的方向

結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的支援体制による、子どもを安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。また、保育料や医療費の助成により、子育てに要する経済的負担軽減を行い、子育てがしやすいまちづくりを推進します。さらに、学習環境の支援を行うとともに、奨学金を返還する若年層への支援により、将来の世羅町を担う人材を一人でも多く確保・育成することに取り組みます。

3 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)



基本施策 1 結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的な支援の提供

目 標	基準値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
子育て世代包括支援センターの利用人数	5,071人	7,500人

施 策1 結婚・妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない総合的な支援の提供

妊娠・出産から子育て支援に関するワンストップの窓口である子育て世代包括支援センター「だっこ」の利用を促進し、妊娠届出時から全ての子育て家庭の把握と定期的な面談や支援により、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを推進します。また、結婚を希望する若い世代を支援するため、結婚に向けた出会いの場づくりなど、支援の取り組みを推進します。

主な事業

- 子育て世代包括支援センター事業
- 妊娠・出産包括支援事業
- 出会いサポート事業

施策2 保護者などの主体的な子育てへの支援の充実

妊娠期や子育て期において、地域子育て支援拠点や子育てサロンなどで親同士が交流できる機会を設けることで、育児の知識やスキルを学ぶだけでなく、安心して子育てができるよう支援するとともに、育児不安や子育て負担の軽減や解消を図り、親の子育て力の向上に努めます。また、親子教室や療育支援の事業をとおして、子どもの心身の発達などの心配や不安を解消する機会を充実し、子育てに関する相談や情報の提供に努めます。

主な事業

- 地域子育て支援拠点事業
- 子育て情報提供事業

施策3 乳幼児・就学児童・生徒の子育て支援

18歳までの医療費の助成や保育料助成事業など、子育てにかかる経済的負担を軽減するとともに、世羅町での出産・子育てを誘引し、第2子や第3子のお産を促すなど、子どもの健やかな育成につなげるための助成制度を充実します。

主な事業

- 乳幼児・児童医療費支給事業
- 子育てに係る負担軽減事業
- Happy Happy
●はぴはぴ祝金事業

施策4 子育ての多様なニーズに対し働きながら育てられる環境の整備

保護者の多様な就労形態やニーズに対し、多様な保育サービスの充実を図るとともに、小学校に就学している子どもで、その保護者が就労などにより昼間家庭にいない子どもを対象に、放課後などに適切な遊びや生活の場を提供するため、放課後児童クラブの運営を行います。また、すべての児童が放課後などを安全安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるような居場所を確保するとともに、将来、地域を担う児童の健全な育成を図るため、放課後子供教室事業を実施します。

主な事業

- 多様な保育充実事業
- 放課後児童クラブ事業
- 放課後子供教室事業



基本施策 2 将来を担う若年世代の人材育成

目 標	基準値（令和元年）	目標値（令和7年）
世羅高等学校入学者数	109人	130人

施 策1 学習支援の促進

町内の小中学校の児童・生徒に対し、学習支援を行い、将来の世羅町を担う人材の学力の向上・底上げを図ることに取り組みます。また、豊かな知性を育む機会の充実を図るため、電子書籍を貸し出すシステムを構築します。

主な事業

- 学習支援事業
- 電子図書館構築事業

施 策2 世羅高等学校における学習環境の支援

世羅高等学校における生徒数確保や学習環境に関する支援を行い、将来の世羅町を担う人材を一人でも多く確保・育成することに取り組みます。

主な事業

- 世羅高校教育環境支援事業

施 策3 奨学金の支援による若年層の人材確保

町内で就労し、かつ奨学金を返還する若年者に対し、大学進学時に活用した奨学金の返還支援を行い、若年層の移住定住の促進や地域産業を担う人材の確保を図ります。

主な事業

- 奨学金返還支援事業